

飯田フォークフェスタ

それぞれの青春 ~ぼくらのそばにいつも歌が~



■五つの赤い風船

1967年西岡たかしを中心に結成。1972年の解散までに「遠い世界に」「恋は風に乗って」「血まみれの鳩」など数多くのヒットを出す。2000年に西岡たかしの元にオリジナルメンバーの中川イサト・新しく青木まり子(元ジャネット)、竹田裕美子(アーリータイムス・ストリングス・バンド)が参加して再結成。2013年再結成以降に発表した4枚のアルバムよりBESTアルバムが発売される。

現在も全国各地でコンサートやイベントに出演。



■猫

1971年10月、カレッジフォークグループ「ザ・リガニーズ」のメンバーであった常富喜雄、内山修と、「ジ・アマリーズ」のボーカリストであった田口清によって結成された。1972年3月9日東芝エキスプレスより「人生なんてそんなものさ」でデビュー。石山恵三の加入後にCBS Sonyオデッセイレーベルより発売された「雪」がスマッシュヒット。ニューミュージック全盛の中で「地下鉄にのって」「各駅停車」「僕のエピローグ」などのオリジナリティー豊かな作品と4枚のアルバムを残し、1975年春に惜しまれつつ解散。前期は吉田拓郎のバックバンドとしての活動も多く、同時に彼の作品を数多く歌うなど、強い影響を受ける。解散後ソロデビューした田口清は残念ながら急逝したが、メンバーはその意志を汲むように30年後の2004年秋、再び音楽ファンの前に登場した。2005年からは本格的に活動を開始、2006年からはテレビ出演等が多く、各地で毎年年間100本近くのライヴツアーや、完全復活をアピールする。2011年に新井武士が加入し、現在の最強メンバーとなる。2014年には新メンバーによる待望のアルバム「猫六」が発売予定。



■茶木みやこ

京都在住。元ピンクピクルス。1971年「僕にさわらせておくれ」「一人の道」などリリース。その後ソロ活動を開始。「泪橋」、NHK「みんなのうた」、TVドラマ「横溝正史シリーズ」主題歌「まぼろしの人」「あざみの如く棘あれば」など多数の作品を発表。2001年「Love is enough」発表と同時に音楽活動を本格的に再開。03年「miyako」を発表。08年コロムビアエンターテインメントから「あるよ・ね」発表。斎藤ノブ、高田渡、桑名正博、柳田ヒロ、園山光博らとライヴツアーや、また、中国の上海、大連、杭州でハンセン病のチャリティーコンサートにも参加。2012年4月石川鷹彦、細井豊とツアーや、7月アルバム制作に入る。10月13日トランジスター・レコードより「Two Doors Away」発売。今もギターを抱え精力的に各地でライヴツアーや展開中。



■三浦和人

兵庫県出身。1958年生まれ。1980年、雅夢「愛はかけろう」が第19回ヤマハボビュラーソングコンテスト「まごころ選手権」優秀曲賞受賞。1984年、雅夢解散後ソロ活動に入る。1985年～1998年JFN系列「三浦和人のポップ・ナウ」等の番組でラジオパーソナリティーとしても多くのファンを掴む。心ある音楽を作り続けて、2010年デビュー30周年記念アルバム「僕の声が聞こえますか」(全曲書き下ろし)をリリース。

地元アマチュアグループ



■ゆうがお

1969年3月、田中・中島・清水の3人が「夕顔とほおづき」を結成。当地の「フォーク長屋」の中核的存在として活躍。1973年「夕顔とほおづき」が解散。1975年、田中・中島に井坪が加わり「トリオ」を結成。その後休止期間やグループ名の変更があるものの、1978年グループ名を「ゆうがお」に改名し、地元の民謡やわらべ歌などを中心に歌い続けて、今日に至る。

■G・G・B

フォーク全盛の頃、個々に活動していたが、約30年間の休止を経て、2008年にフォークグループ「G G B」(男2人、女1人の3人組)を新たに作り、活動を始める。グループ名は、じいちゃん、じいちゃん、ばあちゃんでそのまま「G・G・B」になる。オリジナル曲を中心に、市内外のライブハウス、各イベント等で歌う。最近は、外国のカバー曲も取り入れて、楽しみながらやっている。フォーク長屋メンバー。

■たんぽっぷぱぶりか

2010年、高校1年生の秋に結成。日々練習に励みながら様々な場所でライヴに出演。2011年、高校2年生の時初めて念願の「The FINAL」に出演し、準グランプリ受賞。2012年、高校3年生の時2度目の「The FINAL」出場を果たしグランプリ受賞。大学生になった現在はのんびり活動中。